

## 第 27 期第 4 回東大和市立公民館運営審議会 会議要録

- 1 日 時 令和 5 年 1 0 月 2 6 日(木) 午後 2 時～ 4 時
- 2 場 所 東大和市立中央公民館 3 0 1 学習室
- 3 委 員 (出席者) 佐々木会長、浜田委員、津嶋委員、若野委員、相澤委員、新井委員、橋本委員  
香野委員  
(欠席者) 増本副会長、岩崎委員、豊田委員
- 4 事務局 (出席者) 伊藤中央公民館長、富田事業係長、内藤南街公民館長、森田狭山公民館長  
宮田蔵敷公民館長、國森上北台公民館長

5 傍聴人 1 人

### 6 次 第 (1) 審議事項

- ① 公民館運営審議会ハンドブックについて
- ② 公民館運営審議会委員研修会について

### (2) 報告事項

- ① 令和 5 年度東京都公民館連絡協議会委員部会主催公開研修会参加報告について

### (3) その他

### 7 会議資料

- ・第 27 期第 4 回会議次第
- ・ハンドブック 前書き(令和 5 年 1 0 月 2 6 日版)(案)
- ・ハンドブック P 1 1 から P 1 4 (案)
- ・ハンドブック 事務局案
- ・公民館運営審議会委員研修の過去の記録
- ・各種研修報告書
- ・こうみんかんだより 1 1 月 1 日号
- ・(中央公民館)中公タイムス 第 1 0 8 号
- ・第 5 3 回東大和市民文化祭プログラム
- ・東大和どっとネットの会 パンフレット

### 8 議事要旨

#### (1) 審議事項

##### ① 公民館運営審議会ハンドブックについて

(委員からの主な意見)

- ・会長案は見やすく、分かりやすくなった。
- ・ハンドブックの冒頭で、「公民館運営審議会とは何か。」という目的や存在意義を明確に記述すべき。
- ・新任委員が最初に読むべき内容が巻頭にある方が、内容を理解しやすい。
- ・「寺中構想」は重要な内容としつつも、現在のレイアウトでは主題になりすぎるため、コラムとして扱うか、全体の歴史を述べる章に移動させるべき。
- ・旧ハンドブックにある「住民の意思を反映させ、地域住民のための公民館を実現させること」という存在意義に関する重要な文言は、改訂版でも必ず残すべき。

##### ② 公民館運営審議会委員研修会について

- ・毎年 1 月に実施する委員研修会の形式について、他市への視察か講師を頼んで来てもらうかを議論した。

(委員からの主な意見)

- ・講師を頼んで来てもらうかもしくは、東大和市内で講演形式の研修会を実施したいとする意見や、他市

の公民館運営審議会の具体的な活動事例や、公民館の活性化に繋がる方策についても学びたいとの意見があった。

・講師候補としては、先日行われた東京都公民館連絡協議会の研修会で講演した法政大学の荒井容子先生や、東京都公民館連絡協議会顧問の伊東静一氏である。

（審議の結果）

令和５年度の委員研修会は、講師を頼んで来てもらう形式で実施することを決定した。

事務局は、委員から提案があった候補者を中心に講師への打診と日程調整を進める。

## （２）報告事項

### ①令和５年度東京都公民館連絡協議会委員部会主催公開研修会参加報告について

（委員からの主な意見）

・三多摩地域の公民館の歴史や、都公連が設立された経緯など、歴史的背景について学ぶ点が多く有益だった。

・「これからの公民館運営審議会がどうあるべきか。」という未来志向の議論や、他市の具体的な活動事例の紹介が少なく、物足りなさを感じた。

・東大和市が５館の公民館を有することが他市と比較して恵まれている点や、かつて三多摩地域が学びの場として高い魅力を持っていたという話が衝撃的だった。

## （３）その他

・各公民館から選出されて公民館運営審議会の会議に出席していることから、会議の内容を各公民館の利用者連絡会の役員会等で報告している。

次回会議予定：令和５年１１月１６日（木）午後２時～ 中央公民館 ３０１学習室